IT時事ネタキーワード「これが気になる！」（第139回）

大阪・関西万博開催まであと1年。そもそも万博って何？

2024.03.08

「万国博覧会」は、正式には「国際博覧会」（Universal Exposition）、略して「EXPO」とも呼ばれる。1928年に締結された国際博覧会条約に基づき、各国が工業製品や科学機械、美術工芸品などを出展する。条約では博覧会の主な目的を「公衆の教育」、展示内容を「文明の必要とするものに応ずるために人類が利用することのできる手段又は人類の活動の達成された進歩若しくは将来の展望を示すもの」とし、「二以上の国が参加する」と定義する。

万国博覧会とは？～1851年の「第1回ロンドン万国博覧会」が初

そもそもは1798年にフランス革命期のパリでさまざまな物品を集めて展示した国内博覧会がルーツという。国内博覧会は1849年までにパリで11回開催されたが、徐々に規模が大きくなり、オランダやベルギーなど各国で開催されるようになった。1849年、フランス首相が国際博覧会を提唱し、国際博覧会事務局（BIE、Bureau International des Expositions）を設立、ルールを国際博覧会条約に定めた。

1851年に開かれた第1回ロンドン万国博覧会では、クリスタル・パレスという巨大なガラス館で開催、産業革命の成果を世界に披露した。1889年の第12回パリ万国博覧会（パリでは4回目の開催）はフランス革命の発端となるバスティーユ襲撃100周年を記念し、併せて建設されたエッフェル塔は、今でもパリのシンボルとなっている。日本の参加は1867年の第5回パリ万国博覧会が初という。江戸幕府、薩摩藩、佐賀藩がそれぞれ出展し、薩摩藩は「日本薩摩琉球国太守政府」の名で幕府とは別に展示。幕末の政争が如実に現れた万博となった。

その後、1928年の条約で国際博覧会は「登録博覧会」（一般博）と「認定博覧会」（特別博）に区分された。登録博は開催期間「6週間以上6カ月以内」、1995年以降「少なくとも五年の間隔を置く」決まりとなっている。特別博は「明確なテーマを掲げるもの」とし、「3週間以上3カ月以内」、「登録博の間」（登録博と同一でない年）に開催する。

日本での登録博は、1970年に大阪で開催された「日本万国博覧会」（大阪万博）、2005年の「愛知日本国際博覧会」（愛・地球博）、そして来年の「2025年日本国際博覧会」（大阪・関西万博）となる。特別博は1975年の沖縄国際海洋博覧会（沖縄海洋博）、1985年のつくば国際科学技術博覧会（つくば科学万博）、1990年の大阪国際花と緑の博覧会（花の万博）の3つとなる。

1970年の大阪万博がアジア初の開催。総入場者数は約6421万人を記録… 続きを読む